

令和6年(2024年)3月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年3月 数量 (トン)	2024年3月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。暖冬の影響により数量はやや減少し、平均単価は高く推移しました。	680	117	92%	119%
2		キャベツ	神奈川県産、愛知県産中心の入荷でした。数量は減少し、平均単価はかなり増加しました。	830	115	84%	129%
3		きゅうり	埼玉県産、群馬県産中心の入荷でした。天候不順や気温低下により、数量はかなり減少し、平均単価はかなり高く推移しました。	203	460	62%	131%
4		ほうれん草	2月に大幅な前進出荷となった分、数量はかなり減少し、平均単価はかなり高く推移しました。	48	606	57%	132%
5		馬鈴薯	気温が高いことにより発芽も早く数量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	272	176	71%	125%
6	果 実	その他柑橘	正品化率の低さや小玉で箱数で出ない等の理由で、入荷が少なく、数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	456	351	87%	104%
7		りんご	入庫が少ないことから出荷させる量も少なく、数量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	251	408	68%	152%
8		いちご	天候の影響もあり、数量はかなり減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	153	1,569	78%	110%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上